

大阪ベイエリアにやって来る!!

メント集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」によるスーパーサーカス「ドラリオン」が大阪ベイエリアにやって来ます。「ドラリオン」のステージは、驚きと感動の連続!! この夏、世界最高のエンターテインメントをお見逃しなく!

最初から最後まですごいステージ。
何度も観たいと思いました!

東京公演を
ご覧になったとのことですが、
まずご感想を。

シルク・ドゥ・ソレイユの公演の中で、私は今回の「ドラリオン」が一番良かった。地球のことを考えるというテーマだったんですけど、大地の人は大地を表現して、炎の人は炎の力強さがある、それぞれ美しさもあるし、あつという間に時間が過ぎました。みんなで見終わったら後「どこが好きだった?」と話すんですけど、みんな感想が違うんです。全部が最初から最後まで同じくらいすごい!

一番気になった演目は?

「トランポリン」が目玉のひとつであることは間違いない。やっぱりすごいですね。自分



Photo: Al Seib Costume: François Barbeau © 1999, 2002, 2003 Cirque du Soleil Inc. Photo: Jan Swinkels Costume: François Barbeau © 2004 Cirque du Soleil Inc. © Fuji Television

ステージ衣装が
3000着もあるそうですね。

そうなんです、衣装を見るのも楽しみのひとつですよ!ひとつひとつが手作りです、アーティストの体に合わせて作られたオーダーメイド。ビーズや魚の形をしたボタンとか装飾品もめちゃくちゃ細かいんです。訪れた世界各地の街でもしるい素材を見つけたら買ってきて、衣装を作り直しちゃうこともあるそうです。

特に印象に残ったのは?

私はダンスにすごく魅了されました。もちろん技もすごいんですけど、大地を踏みしめるダンスをする女性や、美しく海・水を表現する女性に目を奪われるくらい。舞台と違ってみても十分に楽しめます。あと、生演奏の迫力も全然違いますね、カラオケとは。歌手の生歌にも「ぞくぞく」としました。歌によって興奮したり、「きゅん」となったりするので、ミュージカルの要素もあるなど。

ベイエリアNOW★スペシャルインタビュー

ドラリオン応援アナウンサー『ドラ★アナ』
藤本景子さん (関西テレビ)

世界を虜にした「ドラリオン」のみどころを、ドラリオン応援アナウンサー『ドラ★アナ』である関西テレビの藤本景子さんにベイエリアNOW編集部がお話を伺いました!

驚異のスーパーサーカス 世界が恋した「ドラリオン」が

2005年の「アレグリア2」から2年。夢のエンターテイン人類と自然の共存というテーマを元に描かれた「ドラリ

観るたびに
違う発見がありそうですね。

ミュージシャンの方にお話を伺ったんですけど例えば本番中も演技に合わせて演奏を即興で変えることがあるんですけど、「毎回違うよ。やつても違うし、観ても違うよ」と。私も一回観るだけではダメだなと思っていました。今回はセンタリーの正面の席でしたけど、次は違う角度から観たいですね。例えば一番前だと表情や筋肉の動きとかも見えない。でも前だと全体を観れないので、真ん中くらいの席で全体も観たい。あと、観客をどんどんドラリオンの世界に引き込んでくれるので、その様子をちょっと遠くの席から見たいです。



ドラリオンの会場となる
大阪ベイエリアの印象は?

ATCやフリーマーケットなどでお買い物ができるし、お散歩に出たら海が開放的で季節を感じられるのもいいですね。サントリーミュージアム「天保山」も好きです。初めてアイマックスシアターで映像を観たときはすごく感動しました。

あと、妹が大阪へ来たときに「北京ダックが食べたい」と言うので、知人にハイアット・リージェンシー・オーサカの「天空」の北京ダックがおいしいよとすすめられて、女の子2人で行ってきました。番組のロケでも行っただけですけど、すごくいい部屋がありますよね。いい人がいたら私ここに泊まってみたいよ(笑)

ドラリオンを観た後に
ベイエリアを楽しむのもいいですね。

夜「ドラリオン」を観て、ハイアット・リージェンシー・オーサカでご飯を食べて、泊まって、次の日ATCでお買い物をして…、あらステキ。こんなプランはどうですか?

藤本景子さん、
ご協力ありがとうございました!!



衣装協力
Q
♡

「ドラリオン」とは?

中国が誇る伝統芸術と現代の西洋文化を代表するシルク・ドゥ・ソレイユの脅威のパフォーマンスが融合した作品で、題名の「DRALION (ドラリオン)」は東を代表する龍 (DRAGON: ドラゴン) と西を代表する獅子 (LION: ライオン) を合わせた造語。東洋の文化において重要とされる4つの自然の力「空」「水」「火」「土」とその一族による人間社会の再現を通じて、人類の創造的な共存の姿を描いています。

- 期間: 7/25 (水) ~ 10/14 (日) <全111公演>
- 会場: 南港・新ビックトップ (コスモスクエア駅下車 徒歩約8分)
- 入場料:
 - 大人 (中学生以上) S席=11,500円 / A席=9,000円 / B席=5,500円
 - 子供 (3歳~小学生) S席=7,500円 / A席=5,500円 / B席=3,500円
- ※3歳未満は無料。ただし、座席が必要な場合は子供券が必要。
- お問合せ: 大阪公演事務局
06-6233-8890 (10:00~19:00)
- URL: <http://ktv.jp/dralion/>

驚異的なパフォーマンス

●トランポリン

重力から解放されたアーティストたちが垂直の「ウォール」を上下左右と自由自在に動き回る「トランポリン」。ハイジャンプや宙返りは当たり前!
藤本さん: 一番の目玉! 重力を無視した動きはすごい!
Photo: Ruyichi Oshimoto Costume: François Barbeau © 2007 Cirque du Soleil Inc.



●エアリアル・バド・トウ

天井から垂らされた青い布を巻き付けた2人の男女が十数メートルを一気に落下したり、登ったり、旋回しながら、情熱的なラブ・ストーリーを表現。
藤本さん: 私と同じ人間がこんな動きをするなんて!
Photo: Ruyichi Oshimoto Costume: François Barbeau © 2007 Cirque du Soleil Inc.



●バレエ・オン・ライト

トゥシューズを履いた少女たちが美しい光を放つガラス電球の上でパフォーマンス。張りつめた緊張感の中、超絶パフォーマンスが繰り広げられる。
藤本さん: 薄暗い会場が灯って、とてもキレイ
Photo: Al Seib Costume: François Barbeau © 2000 Cirque du Soleil Inc.



●ドラリオン

ショーのシンボル・ドラリオンが何頭も現れ、人間と戯れる。華やかな赤いライトの下、ドラリオンと人間たちが融合する様子を祝祭感たっぷりに描かれる。
藤本さん: にぎやかでダイナミックな演目です
Photo: Al Seib Costume: François Barbeau © 2000 Cirque du Soleil Inc.



ショーを彩るキャラクター

●自然分子の調和 —フォー・エレメンツ

自然界を構成する「空」「水」「火」「土」の4つのエレメント。「空」は青、「水」は緑、「火」は赤、「土」は黄土色と、それぞれの色の衣装で力を表現しています。
Photo: Jan Swinkels Costume: François Barbeau © 2004 Cirque du Soleil Inc.

